

【学級活動・中1・「男女の仲を良くしよう」】①

育成を目指す資質・能力

「本時の活動」では、他の意見を尊重しながら合意形成を図ることの大切さを理解し、話し合い活動の手順を身に付けることができるようにする。また、よりよい生活づくりのために他者と協働して解決できるようにする。

ICT活用のポイント

- ・アンケート機能を活用し、クラス全体で実態を把握できるようにする。
- ・議題に対しての考えを学習支援ソフトを活用し提出させ、クラス全員の考えを比べながら合意形成が図れるようにする。
- ・振り返りシートをデータ化し、端末でいつでも確認できるようにする。

1 議題や話し合いの進め方を理解する。

2 アンケートで議題に対するクラスの実態を理解する。

3 議題について一人一人の意見を出し合う。

4 一人一人の意見を比べ合い、班で考えを1つに決める。

5 各班が決めた考えを使って、全体で考えをまとめる。


6 話し合いのまとめをする。

事例の概要

- ・事前にとったアンケートの結果を学習支援ソフトを使って提示する。
- ・クラスの現状に対するみんなの意見をAI集計ソフトを使って確認させる。
- ・一人一人が議題に対しての考えを学習支援ソフトを使ってクラス全員で共有する。
- ・クラスで共有した意見を基に、班ごとに考えをまとめる。
- ・振り返りシートは端末で撮影し、データにして学習支援ソフトに保存させる。

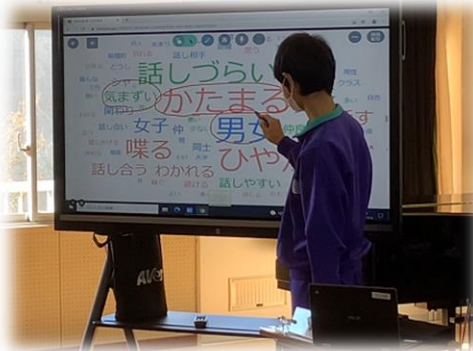
【学級活動・中1・「男女の仲を良くしよう」】②

【事例におけるICT活用の場面①】




○学習支援ソフトを使って事前にとったアンケートの結果を提示する。

○AI集計ソフトを使ってクラスの考えが分かるように提示する。




【事例におけるICT活用の場面②】



○学習支援ソフトを使って、議題に対しての一人一人の考えを共有する。

○学習支援ソフトを使って、それぞれの意見を生かしながら班で考えをまとめる。



【事例におけるICT活用の場面①】

・「つかむ」場面では、議題に対するクラスの現状を全員が理解できるように、事前にとったアンケートの結果を学習支援ソフトを使って解説をしながら紹介する。その際に結果の内容をより見やすくするために各自の学習支援ソフトで確認できるように共有をかけておく。また、クラスの現状に対するみんなの意見が分かるようにするために、AI集計ソフトを使って確認させる。

【事例におけるICT活用の場面②】

・「出し合う」場面では、一人一人が議題に対して考えをもてるようにするために、事前に議題を伝え自分の意見を学習支援ソフトで提出させておく。

・「比べ合う」場面では、それぞれの意見を全員が確認できるようにするために、各自の学習支援ソフトで見られるようにしておく。その際に後の話し合いをスムーズにするために気になった友達の意見を自分のノートに取り込ませておく。